

第6次加西市総合計画  
政策評価シート



基本方針・政策・施策		担当部会 1
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ	
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実	
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実	

未来の加西の姿

家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
① (ア〜ウ) 評価シート 1〜4	■出逢いサポートセンター事業 33件のカップル成立があったが、目標とする数値には届いておらず、サポート方法等新たな展開が必要となっている。 ■新たな子育て支援施策の開始 令和4年10月より、子育て応援・育児の見守り支援として「かさいすくすく子育て定期便」事業を開始。配達員による見守り支援の中で、気になる親子については保健師等専門家へつなげ専門的支援を行う。 ■産後ケアの充実 年間実利用人数は令和3年度比で14名増となり、中には外国人ママの利用もあり、多様な育児不安に対する受け皿としてされていると考えられるので、さらに充実させることを検討していく。	■産後ケアの充実 ・産後ケアについては、担当保健師が利用を勧める方法だけではなく、もっと幅広い人にPR、利用してもらうことで助かる人がいるのではないかと。 ・外国人の産後ケア利用については、相談体制の整備のほか、企業との連携もより一層必要だと考える。
	総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価 C…目標をやや下回って達成
② (ア〜エ) 評価シート 5〜12	■子育て世帯の経済的負担の軽減 令和5年1月から3〜5歳児の主食完全無償化を開始したことで、完全給食費無償化となった。3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化も開始した。 ■子育て応援プロモーション 「子育て応援5つの無料化」を切り口としたWeb広告を展開し、加西市の認知拡大・魅力発信ができた。	■子育て応援プロモーション ・子育て支援については、制度は良く整ってきているので、口コミも含めて関係する人への宣伝をもっと強化すべきである。 ・学童保育については、3年生まではほぼ受入れ可能とのことであるが、それより上の学年（高学年）における受入れニーズにどう対応していくかが課題である。
	総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
③ (ア〜ウ) 評価シート 13〜15	■未来型児童館整備事業 ワークショップを開催し、市民からの子育てに関する課題や未来型児童館に期待する役割・機能等の意見の聴取により、加西市未来型児童館整備基本構想を策定した。 ■保育受け入れ体制の整備 公立園の民営化と小規模保育所2園を新たに整備することで、受け入れ体制の整備と利用者サービスの向上に繋げた。 ■アスモの運営 こども広場及び一時預かりについては、販促活動により利用者も増えてきており、利用者が広域化している。テレワークセンターについては、新規事業などを通じて利用者を新たに獲得する仕掛けづくりが必要である。	■保育受け入れ体制の整備 ・保育園の受入れにおいて、育休復帰前には慣らし保育期間を設けてもらいたい。その方が子どもが新たな環境に適応しやすく、親自身もスムーズな職場復帰ができるのではないかと考える。 ・病児病後児保育は受入れ人数が5名ほどであり、まだまだキャパシティが少ない。夫婦共働きがあたり前の中で、このような施設は更に拡充してもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 C…目標をやや下回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	1.83	人	単年
	実績	1.28	0.91	1.11					
	達成度		50%	61%					
※15〜49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの									
	目標								
	実績								
	達成度								

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	2 子どもの教育の充実
施策	④ 教育の質の向上 ⑤ 教育環境の充実 ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

未来の加西の姿

自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
④ (ア～エ) 評価シート 16～19	<p>■教育の質の向上 SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育を進めてきたが、十分な広がりは見られていないため、更なる周知を行いたい。部活動については、指導員を増員し、地域意向や現場ニーズの充足を図っている。</p> <p>■小・中学校の連携強化 中学校からの乗り入れ授業を行い、新中学生の不安・戸惑い解消に取り組み、一定の成果が得られた。</p> <p>■ICT教育 授業の中でGIGAスクール端末を活用するなど、学習者にとって「個別最適化」された学びの実現に取り組んでいる。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■教育の質の向上 ・部活動の指導員は各校2名程度で陸上や剣道が多いとのことだが、より幅広い種目に対応できるよう充実が求められる。 ・北条高校のアフタースクールゼミによる支援は、参加人数がまだまだ少ないため対策が必要である。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑤ (ア～イ) 評価シート 20～22	<p>■教育環境・STEAM.laboの整備 富田小学校北校舎及び北条中学校武道場改修工事を実施したほか、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、小中・特別支援学校にSTEAM.laboを整備し、ICT教育の推進に取り組んだ。</p> <p>■未来の学校構想検討委員会 保護者や教職員、地域代表者を対象としたアンケート調査を行うとともに、未来の学校構想検討委員会を開催し、中学校再編や小学校の学園構想を柱とする素案を作成した。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	<p>■教育環境・STEAM.laboの整備 STEAM.laboの活用については、自校内で留まることなく、積極的に学校間の交流にも活用してもらいたい。</p> <p>■未来の学校構想検討委員会 未来の学校構想検討については、PTAとしての活動等、様々な分野に影響を与えることから、統廃合等の方向性については早く決めてもらいたい。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>
⑥ (ア～ウ) 評価シート 23～25	<p>■子どもを守り育てる仕組みづくり 総合教育センターの臨床心理士の配置日数を増やす、スクールソーシャルワーカーの認知率拡大などにより、不登校児等の支援に取り組んでいるものの、不登校児童数は増加傾向であり、居場所支援など更なる対策が必要である。</p> <p>■地域との連携 土曜チャレンジ学習事業をはじめ、地域素材・人材の活用、地域企業との協働により、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりをすすめる。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■子どもを守り育てる仕組みづくり 学校が統合されればクラス数も増え、クラス替えの機会もあることから、不登校への対策にも繋がるのではないかと考える。</p> <p>■地域との連携 これまでの学校評議会はR5から学校運営協議会に生まれ変わったが、この取組みによって、より地域との関わりが深まっていくことを期待したい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数	目標		—	—	—	—	3	教科	単年
	実績	1	3	1					
	達成度		100%	33%					
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数									
児童・生徒用PCの使用率	目標		—	—	—	—	100	%	単年
	実績	0	49.29	49.9					
	達成度		49.3%	49.9%					

※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数 ÷ (5/1 現在の児童・生徒数 × 登校日数)

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり
施策	⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進

未来の加西の姿

生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑦ (ア～イ) 評価シート 26～27	<p>■公民館活動の充実 市民教養講座ではSTEAM教育の観点も取り入れた講座を開催した。また、「加西市公民館・オークタウン加西の発展のための基本計画」を策定し、居場所でありプラットフォームとなる公民館を目指す。</p> <p>■スマート図書館のスタート デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、電子図書館システムを含むスマート図書館サービスを導入した。様々なイベントも実施しているが、図書館への来訪者数は伸び悩んでいる。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>	<p>■スマート図書館のスタート ・スマート図書館がスタートしたが、電子書籍の普及に伴い図書館への来場者の伸び悩みは今後も続いていく可能性が高いと考える。 ・アステアかさいでは、登録グループ立ち上げ時に相談業務等スタートアップ支援を行っているが、立ち上げ後における活動機会の充実も併せてお願いしたい。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>
⑧ (ア～エ) 評価シート 28～31	<p>■芸術・スポーツの振興 アスリートによるスポーツ教室、芸術文化に触れる機会としての文化祭・街角コンサート等を開催した。また、加西テニスコートの殺虫灯交換、アラジスタジアムの放送設備修繕等を行うなどスポーツ設備の整備を行った。今後は総合体育館等の整備が課題である。</p> <p>■播磨風土記事業 こども狂言塾では、新規入塾者が8名あったほか、姫路城新能へ初出演した他、加西能では2部延650人が参加した。また、風土記講座は本講座4回、座談会1回の計5回開催し、いずれも100名を超える受講があった。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■芸術・スポーツ振興 ・文化・スポーツ活動の参加者数は、目標に達していないが、冷房もない体育施設の老朽化等も影響しており、近隣市町に比べて明らかに見劣りするので、改善を要する。</p> <p>■播磨風土記事業 ・こども狂言塾がなくなることは寂しいが、それに代わる地域の伝統文化の継承などの新たな取組に期待する。 ・外から見ていて、文化・観光・スポーツ課の業務量が多すぎるように思われる。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑨ (ア～エ) 評価シート 32～37	<p>■運動ポイント事業 令和4年度も順調に参加者を増やしている。また運動ポイントとねっぴ～Payを連動させたことで、交換実績も大幅に伸ばすことができた。</p> <p>■特定検診・がん検診勧奨 加西市シニアクラブ連合会と連携した個別訪問、がん検診無料クーポンの配布等により検診の勧奨を行った。</p> <p>■食育推進事業 子どもの検診や各園の食育教室など令和3年度に引き続き啓発活動に力を入れている。また、加西市民が健康的な生活を過ごせるように「第3次加西市食育推進計画」を策定した。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>	<p>■運動ポイント事業 ・運動ポイント事業はよく頑張っているが、このような取組を活かして、検診率向上への広がりをつくっていくことも大切である。</p> <p>■特定検診・がん検診勧奨 ・特定検診は100%にもっと近づけないといけないし、がん検診もコロナの影響を受けて伸び悩んでいるが、告知をもっと目立つようにする等工夫することが大切である。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市立図書館の来館者数	目標		—	—	—	—	22	万人	単年
	実績	21	17.4	17.6					
	達成度		79%	80%					
※公共図書館調査による年間来館者数									
文化・スポーツ活動の参加者数	目標		—	—	—	—	270	千人	単年
	実績	188	141	171					
	達成度		52.2%	63.3%					
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者									

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実
施策	⑩ 高齢者福祉の推進 ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫ 保健・医療体制の確保

未来の加西の姿

市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑩ (ア～イ) 評価シート 38～39	<p>■ICTを活用した見守り ICTを活用した認知症見守りサービスについては、令和4年度までに130箇所を設置を完了した。BLEタグの周知にも力を入れている。引き続き、見守りサービスの周知、普及を目指す。</p> <p>■高齢者の自分らしく過ごせるできるまちづくり シルバー人材センターは高齢者就業確保措置の影響もあり会員数は昨年度比95%と減少している。またきずなカフェやいきいき体操を行うグループが昨年に比べ増加している。新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことを機に、更なる活動促進を目指す。</p>	<p>■高齢者の自分らしく過ごせるできるまちづくり ・シルバー人材センターで軽微な介護サービス（サービスB）を手掛けるようになったことは評価できるが、高齢者の就労率の向上の中、人材不足気味であるため、もっと募集PRを強化するとともに、業務内容のマッチングも効果的に実施するべき。</p>
	総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価 C…目標をやや下回って達成
⑪ (ア～ウ) 評価シート 40～42	<p>■要配慮者の地域生活移行や社会参加の促進 社会参加促進事業については、コロナ禍等により事業を実施しない団体があり縮小しているものの、実施に向けた相談はあり、今後の増加が見込まれる。就労支援事業については、障がいの理解や認知が拡大したことで、利用者が増加している。</p> <p>■子ども食堂の拡大 子ども食堂については、令和3年度に市の補助制度を創設したこともあり、令和4年度は利用者数を伸ばすことができた（延747人増）。令和5年度からは補助を増額し、さらに支援の拡充を図る。</p>	<p>■要配慮者の地域生活移行や社会参加の促進 ・地域でのサロンの開催は回復しつつあるが、更に活性化するには女性の活躍が期待され、リーダーを養成していくことが重要である。</p> <p>■子ども食堂の拡大 ・子ども食堂の利用者数のKPIについては、元々1箇所だったものが、現在7箇所となっているので、見直すべきである。</p>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑫ (ア～イ) 評価シート 43～46	<p>■医師会・歯科医師会との連携 保健事業の実施計画及び感染症対策について、加西市医師会等と連携しながら事業実施したほか、年末年始の診療体制確保等、市民が安心して医療を受けられる体制を整えた。</p> <p>■医療サービスが適切に受けられる地域医療体制の確保 令和4年度より、精神障害者保健福祉手帳3級取得者への医療費助成の拡充を行い、経済的負担の軽減を図り、適切に医療を受けられる体制を確保することができた。</p> <p>■新病院建設に向けて 改築整備について、令和3年度に策定した『新病院建設工事基本設計』を基に、地質調査等を実施のうえ、計画通りに実施設計の策定に着手した。</p>	<p>■新病院建設に向けて ・加西病院への紹介率の低下はコロナのため直接来院される方が多かったからである。 ・女性が住みたい子育てに手厚いまちとするには、まず原点として、産婦人科は欠かせない施設である。 ・移動手段に制限のある外国人も出産が増えてきているので、日々の受診等にも配慮し、市内産婦人科の確保はとても大切なことである。</p>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 C…目標をやや下回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要介護認定率	目標		—	—	—	—	21.2	%	単年
	実績	20.3	19.4	19.2					
	達成度		91.5%	90.6%					
※認定者数（第1号）÷第1号被保険者数									
市立加西病院への紹介率	目標		—	—	—	—	50	%	単年
	実績	44	43	33					
	達成度		86.0%	66.0%					
※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合									

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	5 農業の再生と活性化
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 47～48	<p>■特産品開発 加西市の特産であるぶどう「ゴールデンベリー-A」をワインの原料として仕入れる際の補助や冬カボチャ「ダークホース」の生産、神戸大学の開発したじゃがいも「はりまる」の生産者確保などに取り組んだ。</p> <p>■農業従事者の確保 「はりまる」の生産者説明会の実施や新規就農促進協議会としての相談会での加西市PRなど、新規農業従事者の増加に取り組んだ。</p>	<p>■農業従事者を増やすための取組 大型特殊免許の補助について、就農者に限り無料になるぐらい思い切ったことをしてはどうか。（年間の補助人数を設定するなどで制限）</p>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑭ (ア～ウ) 評価シート 49～51	<p>■ぶどう生産推進 特産品開発や集落営農組織の資質向上のために、各協議会等に支援を行うほか、加西市の特産であるぶどう生産継続に対する補助を行った。市場ニーズの移り変わりに合わせた、加西ゴールデンベリー-Aの後継品種の選定が課題となっている。</p> <p>■地産地消の推進 市内産農産物を学校給食に使用する取組を進めている。新たな農業者の確保や営農組合の野菜生産支援についても進めていく必要がある。</p>	<p>■ぶどう生産推進 ・市のブランディング向上のため、独自の土産用紙袋を制作してはどうか。 ・ゴールデンベリー-Aに続く新たなブランド作りを推進してほしい。</p> <p>■地産地消の推進 ・学校給食における地産地消を推進するために愛菜館や農家との仕組みも再検討すべきである。 ・農業参入に興味のある企業は多いため、タイアップができればリソースなどの協力が得られるのではないかと。 ・営農組合の運営の仕組みを変えないと、昔のやり方が続くため、民間活力を取り入れるなど新たな取組ができないと思う。 ・定年を迎えた方向けに貸農園を推進してはどうか。</p>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑮ (ア～ウ) 評価シート 52～54	<p>■スマート農業の推進 地下水をくみ上げる際に、ナノバブル発生装置を導入し、収穫量の増加と労働時間の短縮に取り組んだ。</p> <p>■有害鳥獣対策の推進 加西市内全体に広がるイノシシやシカ、アライグマ等の被害軽減に向けて、資材を提供し、地域で金網柵などを設置する事業を行った。</p>	<p>■スマート農業の推進 ・若者が興味を持って参入してもらえるよう、より高度なICTを推進すべきである。 ・⑮イのKPIの指標について、水稻の割合を設定してはどうか。もし100%が達成できれば加西のブランド米ができるのではないかと。</p>
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255	1255					
	達成度		89.6%	90%					
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87	87					
	達成度		95.6%	95.6%					
※作付面積：農地面積									

基本方針・政策・施策		担当部会 2
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む	
政策	6 商工業の振興と新展開	
施策	⑯ 商工業の振興 ⑰ 創業支援と働く場の拡大 ⑱ 雇用・勤労者福祉の充実	

未来の加西の姿

商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑯ (ア～ウ) 評価シート 55～58	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域通貨「ねっぴ～Pay」による消費喚起とキャッシュレス決済普及 コロナ禍で地域経済が落ち込む中、プレミアム付き商品券の発行等により、消費喚起に取り組むとともに、「ねっぴ～Pay」にマネーチャージ、ポイント付与機能を追加し、ポイント還元を行うなど消費喚起に取り組んだ。商工業のデジタル化、デジタル決済の普及を目指した取組や、省エネ・創エネなどの設備投資の加速を支援した。</li> <li>■魅力ある商業施設の誘致 産業振興課と都市計画課が連携し、西高室地区ヘルズモール加西を誘致することに成功した。また西笠原町への商業施設誘致のため、地区計画を令和4年10月1日に決定した。</li> </ul> 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域通貨「ねっぴ～Pay」による消費喚起とキャッシュレス決済普及 ・情報通信基盤の整備について、加西市は携帯電話の電波が弱いと感じる。テレワーク等、通信環境は重要になるので整備を進めてもらいたい。</li> <li>・「ねっぴ～pay」について、「paypay」と同じようにお金のやり取りができるようになればもっと活用が広がると感じる。</li> <li>■魅力ある商業施設の誘致 ・市内の若者や外国人は遊興施設の誘致を望んでいる。</li> </ul> 総合評価 A…目標を大きく上回って達成
⑰ (ア～エ) 評価シート 59～63	<ul style="list-style-type: none"> <li>■創業支援と働く場の拡大 個人事業主や小規模事業者のみならず、事業承継の支援、事務系企業やクリエイティブ産業の誘致に取り組んでいる。</li> <li>■若者の起業支援、事業継承 特定創業支援事業やビジネスグランプリにおいて積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。今後は、起業家同志のコミュニティづくりにも取り組んでいく必要がある。</li> <li>■加西インター産業団地の整備 1期事業は、各工区の造成工事、企業誘致を進め全11社の進出が決まった。2期事業についても開発手続きを進めている。</li> </ul> 総合評価 B…ほぼ目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■創業支援と働く場の拡大 ・「かさい創業塾」は加西商工会議所と連携し、上手く回っている。</li> <li>■若者企業支援、事業継承 ・若者企業調査助成事業の実績について、企業支援セミナーがコロナ禍の影響により実施できなかったとはいえ、0という結果は非常に厳しい。</li> <li>■加西インター産業団地の整備 ・ウについて、手続き上の認可が遅れているだけで、調整は行っているため、もう少し評価が高くて良いのでは。</li> </ul> 総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑱ (ア～ウ) 評価シート 64～66	<ul style="list-style-type: none"> <li>■兵庫労働局との連携 雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組むほか、市内事業所から協力を得て、北条高校で「地元企業の魅力を知る会及び職業講和」を実施した。また、3年ぶりに小学生向けの産業観光ツアーを開催した。</li> <li>■ICTの活用 リアル開催のJOBフェアのほか、学生向けにオンライン企業説明会を実施するなど、時代に合った取組を行っている。</li> </ul> 総合評価 B…ほぼ目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■兵庫労働局との連携 ・雇用促進について、就職する人が増えておらず、厳しい。</li> <li>・UJIターンによる就職、企業などの推進</li> <li>・加西市は車社会であり、不便なところもあるが、田舎で交通量が少なく運転しやすいという特徴もある。都市部から来られた方にその特徴をPRしてみてもどうか。</li> <li>・一般の方にとって、都市部同士に比べると加西市とその周辺地域は大して住環境の差がないのでは。</li> <li>・加西市出身の若者が帰ってこないことが大きな問題である。</li> <li>・公共交通が加西市の活性化における大きな課題である。</li> </ul> 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額	目標		—	—	—	—	3,900	億円	単年
	実績	3,321	3,213	2,480					
	達成度		82%	64%					
※工業統計調査・経済センサス活動調査									
	目標								
	実績								
	達成度								



基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑮ 移住・定住の支援 ⑯ 空き家・空き店舗の利活用

未来の加西の姿

地域資源を十分に活かし、加西市に訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑭ (ア～ウ) 評価シート 67～70	<p>■歴史文化遺産を活かす取組 団体への補助を行い、11団体が地域文化財の調査研究資料の印刷や掲示を作成したほか、地域に伝わる民謡の演奏会や行事開催を通じ、伝統芸能の伝承にも取り組んだ。 また、soraかさいを中心として鶉野フィールドミュージアムの施設整備を行い、12万人以上の集客となった。</p> <p>■地域資源を活用した観光振興 加西市の観光資源となった気球を活用したハッピーバルーンクリスマスや気球係留イベントを実施し、「気球の飛ばまち加西」の更なる推進に取り組んだ。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■歴史文化遺産を活かす取組 ・玉丘史跡公園について、古墳が間近に見れる立派な公園なので、もう少しPRしてはどうか。また、夜が暗いのが難点である。 ・soraかさいの屋外トイレについて、時間帯によってカギがかかっている。行政サービスの観点から何とかしてほしい。 ・soraかさいについてもいい施設なので知名度を上げるようPRしてほしい。 ・自転車のサイクルスタンドは多いのだが、チューブの自販機を設置してほしい。北条鉄道に自転車を乗せられるのであれば、駅においてはどうか。</p> <p>■地域資源を活かした観光振興 ・気球の飛ばまちかさいのチラシがアピールでき、好評である。 ・市内の日本酒販売店への公共交通を充実してほしい。飲酒できないため。 ・デジタル化を進め、ぶどう・イチゴなどの産地直送のお店が分かるようにしてほしい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑮ (ア～ウ) 評価シート 71～74	<p>■移住・定住の支援 UJIターン促進補助金、若者定住促進住宅補助事業、新婚世帯向け家賃補助事業などを実施した。いずれも目標には届かなかったものの、加西市への移住・定住の入口となる制度として、人口増政策課、きてみて住んで課が連携しPRを行った。</p> <p>■移住相談施策の強化 移住相談業務を一般社団法人に委託し、多岐にわたる移住相談に対するワンストップ窓口を設置するとともに、市内の空き家を活用したお試し居住施設の整備をすすめるリノベーション・PR計画を策定した。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>	<p>■移住・定住の支援 ・「UJIターン促進補助金」について、所得制限は設けなくていいのではないかと。また、300万円の所得制限は厳しすぎるのでは。もう少し、若者が帰って来るような事業については力を入れるべきと思う。 ・「UJIターン促進補助金」から、「若者定住促進住宅補助事業」「結婚新生活支援事業」「新婚世帯向け家賃補助事業」までを1つのパッケージとしてアピールしてはどうか。</p> <p>■移住相談施策の強化 ・他自治体では大きな看板で自治体の支援策をPRしている。 ・せっかく空き家に新たな入居者が入っても閉鎖的な自治会ルールによって出ていくケースがある。行政からも自治会と調整してほしい。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>
⑯ (ア～ウ) 評価シート 75～78	<p>■空き家対策強化 不動産事業者との連携強化や空き家バンク制度の積極的な情報発信を行った結果、新規登録数は目標を大幅に超え、成約数も過去最多となった。今後は空き家等の実態調査、対策計画策定を行い、更なる空き家の利活用を図ることを狙う。</p> <p>■空き家の利活用支援 空き家バンク物件の成約数が大幅に増加したことで、空き家改修補助事業の件数も大幅に増加しており、空き家の利活用及び移住促進につなげることができた。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	<p>■空き家対策強化・空き家の利活用 ・空き家バンクの新規登録数が多くなるということは、それだけ地域の中に空き家が増加しているということなので、地域にとっては一概にプラスとは限らない。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
観光入込客数	目標		—	—	—	—	1,100	千人	単年
	実績	914	954	1,205					
	達成度		87%	110%					
※加西SA 利用者数は除く年間客数									
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	80	%	単年
	実績	78	80	83					
	達成度		100.0%	103.8%					

※ 3月31日現在の26-28歳の人数 ÷ 10年前の16-18歳の人数

担当部会 3

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実
施策	② 防災・感染症対策の充実 ③ 防犯・交通安全の向上 ④ 市民相談・消費者保護の充実

未来の加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
② (ア～ウ) 評価シート 79～82	■ 防災対策の充実 防災ネットによる情報発信の活用、コミュニティ無線の整備等、地域の防災アナウンスの体制を整備した。また、例年通り土嚢づくりを実施した他、自主防災訓練費補助、資機材整備費補助を行い、地域の防災力の維持強化に務めた。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策 加西病院では、新型コロナウイルス感染症対応を最優先課題として、加東健康福祉事務所と情報を共有しながら対応を行った。また、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業では、児童、乳幼児への接種を実施した。	■ 防災対策の充実 ・民生委員だけが地域の情報集約を担うのではなく、福祉委員という立場で活動する人材も必要ではないか。 ・自主防災訓練は地域防災を支える重要な取組であるから、更なる充実をさせるべきである。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策 ・加西市の取り組んでいる新型コロナウイルス感染症対策は評価できる。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 A…目標を大きく上回って達成
③ (ア～イ) 評価シート 83～85	■ 防犯対策の推進 防犯灯については、これまでの取組の成果により、市内設置数はほぼ一巡している。今後は保守に重点をおいた事業展開を予定している。防犯カメラについても自治会からの要望が多いため、引き続き補助事業を実施する。 ■ 交通安全の推進 加西市内951名の中学生を対象とした自転車保険加入事業を実施したほか、市内こども園、小中学校において交通安全教室を実施した。	■ 防犯対策の推進 ・不法投棄対策は目標を高く設定し、予算もしっかり確保したうえで取り組んでもらいたい。 ■ 交通安全の推進 ・「交通事故を無くす」という目標に対し、取組事業が少なすぎる。現状では自転車を運転する者だけを対象とした取組である。歩行者、自動車を運転する者に対する事業も行うべき。全体的に取組が物足りない。目標を意識した取組の拡充を期待したい。
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価 D…目標を大きく下回っている
④ (ア～イ) 評価シート 86～87	■ 市民相談の充実 市民相談では、市民からの多種多様な相談を受けている。月1回の弁護士相談も実施しているが、毎回ほぼ予約枠が埋まっており、困りごとの解消に寄与している。 ■ 消費者相談の充実 消費者相談では、公民館と連携することで、啓発グッズの配布に努め消費生活センターの周知につなげた。しかし、全国の傾向に反して消費者相談の件数が減っている。消費者講座への参加も低調となっており、啓発方法や内容の再検討が必要である。	■ 市民相談の充実 ・分かりやすい相談室、PRが必要である。 ・地域の中で「困っている」という声は聞かれるので、そういった声に対応できる体制を構築してもらいたい。 ■ 消費者相談 ・消費者問題については、民間の動きに期待するだけでなく、行政でしっかり取り組んでもらいたい。 ・特殊詐欺が非常に巧妙、多様化している。予防啓発に更に力を入れてもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 C…目標をやや下回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数	目標		—	—	—	—	75	回	単年
	実績	57	55	56					
	達成度		73.3%	75%					
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数									
交通事故発生件数	目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
	実績	1,466	1,262	1,272					
	達成度		102.9%	102.2%					
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数									

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	9 快適な都市空間の創出
施策	㉕ 住環境の整備 ㉖ 地球に優しい環境都市の創造

未来の加西の姿

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉕ (ア〜オ) 評価シート 88~94	■住環境整備 西高室土地区画整理事業は、令和2年度の事業完了後、順調に宅地化が進んでいるほか、中野・下宮木地区では商業立地のほか、更なる宅地化を促進するための区画道路工事も完了した。 ■歴史的街並みの景観保護 景観形成地区内における建築行為について、景観ガイドラインで定められた住宅の新築における外壁の色彩等の景観形成基準への適応に向けた指導、相談を行った。また、北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を43mにわたり整備した。舗装自体の修繕が発生したため延長が伸びながつたが概ね事業としては進捗している。	■住環境整備 ・おおむね計画どおりに進んでいる点については評価できる。 ・遊休市街地の積極的売却については、市が注力している3箇所の売却の内2箇所しか終了していない。この点について、どのように取り組んでいくのか説明が欲しい。 ・バリアフリーマップについては施策目標がはっきりしない。施策目標をはっきりさせ、それに即した事業展開を考えるべきである。 ■歴史的街並みの景観保護 ・街並みの景観保護は個別の建築物等ではなく、統一性が重要である。統一性が損なわれないように取り組んでもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉖ (ア〜ウ) 評価シート 95~98	■地域再エネ導入ゾーンング事業 地域の関係者と合意形成を図りながらゾーンングマップを作成した。今後は太陽光発電設備の設置に伴う自然災害や景観等への懸念が指摘されているため、市条例等による太陽光発電の設置抑制区域の設定など、再エネ普及促進と自然環境の調和を考えていく必要がある。 ■環境都市の創造 小中学生を対象に、児童生徒が探求心を持ち、仲間と協働して身近な環境の調査研究を行う環境体験学習を推進した。今後もSDGsやSTEAMの観点を踏まえた取組をさらに進めていく。	■地域再エネ導入ゾーンング事業 ・ゾーンング、調整をしても業者を止められないこともある。地域としては住宅地近くや田畑の中に野放図に太陽光パネルが設置されるのは困る。そういったことのないように対応してもらいたい。 ・ごみの排出量が増えている。要因分析をしたうえで、予算を確保して、しっかりと取り組んでもらいたい。 ■環境都市の創造 ・子どもたちを対象とした環境体験学習は非常に重要である。引き続き取り組んでもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住宅の新築件数	目標		—	—	—	—	90	件	単年
	実績	115	95	106					
	達成度		106%	118%					
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数									
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標		—	—	—	—	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811	828					
	達成度		94.1%	91.9%					

※ (ごみの処理量 + 集団回収量) ÷ 9月末人口 ÷ 年間日数

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備
施策	㉗ 道路・河川の整備・維持管理 ㉘ 上下水道の整備・維持管理 ㉙ 公共交通の充実

未来の加西の姿

暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉗ (ア〜ウ) 評価シート 99~101	■道路・河川の整備・維持管理 市道の新設改良、通学路整備、草刈り補助を実施した。修繕要望は増加傾向であり、市道の老朽化も進んでいるため、予算・人員の確保が必要である。また、橋梁点検49箇所、橋梁補修実施設計を7橋実施。今後も計画的に対応していきたい。 ■公園整備 公園施設の安全管理に努めるとともに、公園内の支障樹木の伐採や剪定を行い景観整備を実施した。	■道路・河川の整備・維持管理 ・道路整備は順調のようなので、引き続き、計画通り取り組んでもらいたい。 ・地域の要望にしっかり応えてもらいたい。 ・この分野は非常に経費が大きくなる。評価が甘くなっているように思うので、しっかりと評価し、事業の進捗を管理してもらいたい。
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉘ (ア〜イ) 評価シート 102~103	■上水道経営の効率化 市川町との受水交渉が決着し、令和7年度までは一時的に受水費が高額になるものの、令和8年度以降は低減される見込みである。 ■上下水道の整備・維持管理 水道管路の耐震管への更新事業について実施設計を終えたほか、下水統廃合事業については、在田地区南部処理施設の廃止工事を実施した。	■上下水道経営の効率化、整備・維持管理 ・計画通りに進捗している。進捗度合を意識しつつ、引き続き効率化にも努めてもらいたい。
	総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉙ (ア〜ウ) 評価シート 104~106	■公共交通マスタープラン「加西市地域公共交通計画」の策定 地域の交通調査・利用状況の調査・分析を行い、市の目指す公共交通網の姿を明らかにする「加西市地域公共交通計画」を策定した。 ■北条鉄道の利用促進 鉄道安全輸送設備、車両等設備整備に対する支援を行うほか、経常損失部分に対する運営費補助を行った。また利用者アンケートを実施し、要望の多かったICカード導入について検討を行う。 ■地域主体型交通の拡大 地域主体型交通を実施している2地区への運行支援を行ったほか、新たに導入を進める富田地区への導入支援を行った。	■公共交通充実に向けた取り組み ・「かさいおでかけナビ」については、紙媒体で全戸配布する必要性は低いのではないかと。配布にかかる地域の負担も大きい。 ・北条鉄道がコロナ禍にも関わらず乗客が増えていることはすごいことである。（全国的には減少傾向にある）。 ・カーボンニュートラル、自動運転など、様々な市の施策と連動させながら取り組んでもらいたい。 ・地域主体型交通については、地域の負担が大きすぎるようにも思う。交通については、市が主体となって取り組んでもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
道路改良率	目標		—	—	—	—	34.8	%	単年
	実績	34.1	34.6	34.6					
	達成度		99.4%	99%					
※規格改良済延長÷実道路延長									
鉄道・コミュニティバス等の利用者数	目標		—	—	—	—	420.0	千人	単年
	実績	365.5	365.4	408.5					
	達成度		87.0%	97.3%					

※北条鉄道、ねっぴ〜バス、コミュニティバス（はっぴーバス）、地域主体型交通の年間利用者合計数 ※神姫バス、高速バス、タクシーは除く

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍まちの魅力を高める
政策	11 協創のまちづくりの推進
施策	③⑩ 協創のまちづくり ③⑪ シティプロモーションの推進 ③⑫ 広報・広聴の充実

未来の加西の姿

加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気にぎわいあるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
③⑩ (ア〜ウ) 評価シート 107~109	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協創のまちづくり 「加西市地域づくり戦略会議」を設置し、地域づくりにかかる取組の評価検証や今後に向けた市の推進方策等について検討を行った。</li> <li>■関係人口の創出 中間支援組織である「一般社団法人ユニテ」に委託して、ワンストップ移住相談窓口による移住相談を実施するほか、都市部住民等との交流会、ワークショップも開催し、移住人口や関係人口の増加を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協創のまちづくり ・関係人口の取組成果は見えづらいところがあるが、ポストコロナは今年から本番となるので期待したい。 ・まちづくりでは“ここにしかない”をPR出来ることが重要。万博も見据えた取組をしてもらいたい。 ・加西市とは何か、という視点を持って取り組むことが重要。 ・定住人口も意識してほしい。</li> </ul>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
③⑪ (ア〜ウ) 評価シート 110~112	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シティプロモーションの推進 市民と行政が一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用していく。</li> <li>■ふるさと納税推進 返礼品の充実に加え、楽天ポータルサイト内の特設ページ作成や、ファンミーティング開催など様々な取り組みを実施した結果、寄附金額を維持（約63億円）するとともに、寄附件数を1万件増やすことができた。</li> <li>■観光資源の発掘 喝采みやげ、かさいまちあそびの開催などを行うとともに、「かさい観光ナビ」による情報発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シティプロモーションの推進 ・若い人の発想を活かすことを考えてもらいたい。</li> <li>■ふるさと納税 ・ふるさと納税をが好調であることは非常に喜ばしいことだが、それを前提とした施策展開は、制度が大きく転換した際には危険であると感じる。</li> <li>■観光資源の発掘 ・地域の取組そのものを資源としてPRしてはどうか。 ・シビックプライドという観点で考えると、“加西能”が消えていくのが勿体ないと感じる。</li> </ul>
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
③⑫ (ア〜ウ) 評価シート 113~115	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広報・広聴の充実 市広報誌「すっきゃかさい」は、令和4年度県広報コンクールの広報誌部門で入選した。HPやSNS発信については、発信力強化のため市内研修が必要である。</li> <li>■タウンミーティングの実施 市内10箇所で開催したタウンミーティングにおいて、地域の要望や課題を集約した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広報・広聴の充実 ・おおむね計画通りという印象だが、情報発信は今やSNSがメインである。市の広報もそれに合わせた紙面展開にしたほうがよく、内外の注目を高められる。 ・引き続き積極的な広報活動をしてもらいたい。</li> </ul>
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価 A…目標を大きく上回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
まちづくり計画の策定数	目標		—	—	—	—	7	計画	累計
	実績	4	5	5					
	達成度		71%	71%					
※ふるさと創造会議（10地区）におけるまちづくり計画の策定数									
	目標								
	実績								
	達成度								

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現
施策	㉓ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ㉔ 男女共同参画の推進 ㉕ 多文化共生と平和のまちの実現

未来の加西の姿

多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉓ (ア〜ウ) 評価シート 116~119	■人権文化の推進 住民人権学習の方法を変更し取り組んだ初年度であった。参集型学習だけでなくオンライン学習も取り入れた。まちかどフォーラムに世帯数の8割以上が参加した町もあった。 ■子ども支援・家庭支援 DVセンター、子ども家庭総合支援拠点において人員確保を行い、これまで以上に定期訪問・相談対応の充実を図った。 ■障がい者支援 基幹相談支援センターに相談支援を委託している。件数は減少傾向にあるものの、困難ケースが増え対応時間は増加傾向にある。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	■人権文化の推進 ・人権学習は、新たにオンライン学習できるようになり、評価できるが、今後更にPRしていくことが重要である。 ・権利擁護センターの具体化は3市1町で取組む方針とのことだが、早期設置を要望する。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉔ (ア〜イ) 評価シート 120~121	■男女共同参画の推進 昨年度策定した計画・条例に基づき、意思決定の場における女性登用に向けて施策を推進した。女性リーダー養成講座では、集大成として「加西市女性議会」を開催した。 ■雇用の促進 兵庫労働局との雇用対策協に基づいた就職支援に取り組むほか、女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。また、庁内プロジェクトチームの雇用対策PTにおいて、政策立案に向けた議論を行っている。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	■男女共同参画の推進 ・男女共同参画関係は積極的な取組みと評価できる。 ・女性が働きやすい職場づくりのためには、トイレ整備や長く働き続けられる環境整備を企業にも市から働きかけて欲しい。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉕ (ア〜ウ) 評価シート 122~124	■多文化共生の推進 ねひめカレッジと連携し、外国人児童学習サポートや日本語ボランティア研修を行ったほか、外国人を対象とした生活相談は270件のほるなど、外国人の生活サポートを行っている。また、庁内職員向けには、やさしい日本語講座を開催した。 ■平和—ツーリズムの展開 地域活性化拠点施設「soraかさい」を中心とした、ピースツーリズムの推進、グリーンスローモビリティ実証実験、防空壕等の記録保存のほか、soraかさいファンパスポートの導入を行った。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	■多文化共生の推進 多文化共生の方向が変わり、拠点整備から相談や生徒支援中心となっているが、家族滞在者が増える中で、マイナポイントや保険証の外国人対応などは市からの適切な支援が求められている。 ■平和—ツーリズムの展開 12万人以上の来訪者があり、評価されているがリピーター客を如何に獲得するかが課題と言える。企画展をはじめ新たな集客の仕組みが必要である。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
人権研修の参加者数	目標		—	—	—	—	3,500	人	単年
	実績	3,398	2,074	2272					
	達成度		59.3%	64.9%					
※加西市が実施する人権研修会の参加者数									
女性管理職の登用率	目標		—	—	—	—	20.0	%	単年
	実績	15.2	13.3	11.8					
	達成度		66.5%	59.0%					
※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合									

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進
施策	③⑥ 行財政運営の効率化 ③⑦ ICTの利活用の推進 ③⑧ 広域連携と公民連携の推進

未来の加西の姿

計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
③⑥ (ア～オ) 評価シート 125～129	<p>■行政サービスの質の向上 庁内研修、他市町との合同研修などを通じた資質向上とともに、ミス防止についてもダブルチェック体制の徹底などを行った。</p> <p>■行財政運営の効率化 「5つの無料化」という歳出増はあったものの、ふるさと納税等による増収や建設事業の減など歳出抑制により、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。</p> <p>■徴収体制強化 経済状況の回復もあり、目標値を上回る現年度収納率99%を達成している。また、悪質な滞納者に対しては差押を実施することで、税の公平を保つための徴収業務に務めた。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■行政サービスの質の向上 ・「研修参加者の偏りをなくす」ことについて検証が必要である。 ・クレジット等、デジタルを活用した多様な税金の支払い方法を検討してほしい。 ・テレワークの実施件数について、目標値が少なすぎる。個人のデスクを廃止するぐらいの業務環境を推進してほしい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
③⑦ (ア～イ) 評価シート 130～132	<p>■ICTの利活用 RPAについては、令和4年度より別ソフトに変更したことで、シナリオ作成は容易となったが、財務会計ソフトとの連携がスムーズにいかず、実行回数は減少した。ビジネスチャットツールは庁内での利活用が進み、令和4年度に議会及び病院でも使用することとなった。文書管理システムの全庁本格導入を実施し、別システムで処理する財務会計の伝票を除き、ほぼ100%の電子化率となった。</p> <p>■行政手続きのオンライン化 令和5年3月17日より住民票・印鑑証明のコンビニ交付を開始した。また、26手続きをオンライン対応とした。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>■ICTの利活用・行政手続きのオンライン化 ・ペーパーレスを推進するにはKPIの数値目標をもっと上げないといけない。民間企業ではもっとシビアに実施している。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
③⑧ (ア～イ) 評価シート 133～135	<p>■広域連携の推進 北播磨広域定住自立圏では、令和6年度の次期共生ビジョン策定にむけ、先進的な取組を実施している自治体の視察を行った。</p> <p>■SDGsの推進 加西市は、特に持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、内閣府より「SDGs未来都市」に選定された。</p> <p>■高校・大学・企業との連携 令和3年度に県立播磨農業高等学校と学校給食への協力について協定を締結し、令和4年度も継続して学校給食で食材を使用した。また楽天農業、株式会社マイファームと連携協定を締結した。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	<p>■高校・大学・企業との連携 ・「はりまる」について、市の特徴となる農産物となるように「神戸大学」というブランドを活かしながらもっとPRを行ってほしい。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
経常収支比率	目標		—	—	—	—	92.4	%	単年 減少指標
	実績	93.8	90.4	94.9					
	達成度		102%	97%					
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率									
地方債残高	目標		—	—	—	—	426	億円	単年 減少指標
	実績	411	394	372					
	達成度		107.5%	112.7%					

※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高